

# BCG予防接種説明書(結核の予防接種)

## ●対象者・・・

# 生後3ヵ月～1歳の誕生日の 前日までに1回

※標準的には生後5ヵ月から8ヵ月

## ●結核とは・・・

患者等の咳やくしゃみなどにより飛び散った菌で感染します。

赤ちゃんがかかると重症になるおそれがあります。

## ●BCGワクチンとは・・・

牛型結核菌を弱めた生ワクチンです。



## ●予防接種後の注意事項・・・

- ・ BCG 接種後は日陰で乾燥させてから衣類を着せてください。
- ・ 接種当日は接種部位を直射日光に当てないようにしてください。
- ・ 入浴はできますが、接種部位をこすらないでください。

## ●BCGの効果は・・・

- ・ 結核の発病を 1/4 程度におさえ、小児の重篤な発病を予防します。
- ・ 一度接種すれば 10～15 年程度効果が持続します。

## ●注意点と副反応・・・

接種後2～3週間で接種局所に赤いポツポツができ一部小さくうみをもつことがあります。約4週間頃に最も強くなりますが、その後はかさぶたができ、接種後3ヶ月までには治ります。これは異常反応ではなくBCGがついた証拠だと考えられますので、包帯や判創膏はせずに、清潔に保ちましょう。

まれに脇の下のリンパ腺が、はれることがあります。様子を見てもかまいません。

化膿がひどくうみがでたりしたときは、医師に相談してください。

ごくまれに、ショックやアナフィラキシー様症状がでることがあります。

## ●コッホ現象について・・・

結核の感染を受けている人がBCGを接種した場合、接種後 1～10 日以内に接種部位に発赤や腫れ・化膿等がやや強くでることがあります。これをコッホ現象といいます。

このような場合は、接種部位を清潔に保つ以外の対応はせず、すみやかに接種医療機関を受診してください。

## BCG 接種の際について ～ステロイドを内服している方は事前に教えてください～

文責：鹿児島県立大島病院小児科

ステロイド内服は、免疫に影響する可能性があります。

予防接種をしても、十分な効果が得られず、その病気にかかることもあります。予防接種は、体調が良い時が望ましいので、ステロイドを内服中の方は事前に教えてください。

※ステロイド軟膏(塗り薬)は通常問題ありませんが、BCG 接種には影響する場合がありますので、BCG 接種の際には医師にご相談ください。

### 【ステロイド薬剤の例】

リンデロン、リネストロン散、セレスタミン、ベタメタゾン、デカドロン、デキサメサゾン、プレドニゾロン、メドロール、エンベラシン、クロコデミン、サクコルチン など

内服中の薬で分からないことがあれば、お薬手帳持参のうえ、診察医にご相談ください。また、予防接種全般について、ご相談があれば、奄美市役所健康増進課までお問合せください。

### 【お問い合わせ先】

奄美市役所  
健康増進課予防係 小倉・窪山  
0997-52-1111 (内線 5058)